

破產法案外一件特別委員會議事速記録第四號

大正十一年二月六日(月曜日)午後一時三十六分開會

○委員長(伯爵松平賴壽君) 前回ニ續キマシテ質問ヲ繼續
イタシマス、前同ハ第三十條ヨリ三十七條マデノ説明ガ終
リマシテゴザイマスガ、此中御質問ヲ願ヒマス

○河村讓三郎君 三十一條ニ付テテ質問ヲ致シマスガ
此條ノ前段ノ方ハ、死亡ニ依テ相續ノ開始シタ場合ニ、相續
上ノ權利者トシテ相續債權者ト受遺者トガ、共ニ働ク場合
ヲ規定シタモノト考ヘマス、其後段ノ方ハ場合ガ三ツ掲ゲ
テアリマスガ、何レモ前戸主ガ破産ノ宣告ヲ受ケタト云フ
コトガアリマス、前戸主ガマダ生存シテ居ル場合ノヤウニ
アリマス、サウシテ此隱居シタ場合等デアリマスガ、サウ
致シマスト相續上ノ權利者トシテ働キマスノハ、相續債權
者トシテ、受遺者ト云フモノハマダ其權利ヲ行フコト
ハナイノデアリマス、ソレデ後段ニ「亦同シ」トアリマス
ハ、相續債權者ノミニ付テ亦同シト、斯ウ讀マンケレバナラ
ヌノデアラウト思ヒマス、果シテサウ云フモノデアリマセ
ウカ、一應政府ノ説明ヲ承テ置キタイト思ヒマスノデアリ
マス、尙ホ後ニ至リマシテ、第四十二條ニ付キマシテモ同ジ
ヤウナ問題ヲ生ジテ居リマスノデ同條ニ付テ更ニ政府ノ御
説明ヲ煩ハス續リデアリマスガ、其時ニ又ソレト牽連シテ
三十一條ノ御説明ヲ願フカモ存ジマセマスガ、此際ニハ先ヅ
前ニ述ベマシタダケノ點ニ付テ御答ヲ願ヒマス

○政府委員(池田寅二郎君) 御答ヲ致シマス、御尤ノ御尋デ
アリマス、三十一條ノ前段ノ方ハ死亡ニ依ル相續ヲ見テ居
リマシテ、其場合ニハ先代ノ債權者並ニ受遺者ガ破産債權
者トシマシテ、相續財產並ニ相續人ノ各破産財團ニ於テ權利
ガ行ヘルト云フコトニナリマシテ、所ガ只今河村委員ノ
御述ニナリマシタ通り、九百八十九條ト九百九十一條ノ場
合ニ於キマシテハ、九百八十九條ハ隱居並ニ入夫婚姻ノ場
合ノ相續開始ノ例デアリマス、九百九十一條ハ國籍喪失ニ
依リ相續開始ニナリマシタ場合デアリマス、何レモ前戸主
ナルモノハ生存シテ居リマシテ、其ノ前戸主ガ破産ヲ致シ
マス、ソレニ加フルニ或ハ相續財產、或ハ相續人、或ハ相續
財產及ビ相續人ガ共ニ破産シタ、斯ウ云フ場合ニナリテ居
リマス、其場合ニ先代ノ債權者ガ破産債權者トシテ權利ヲ
行ヒマスモノハ、マダ先代ガ死亡シテ居リマセヌカラ、遺言
ノ效力ト云フモノハ發生シナイ、即チ受遺者ナル者ハマダ
出來テ居ナイ場合ニ該當イタシマスノデアリマス、受遺
者ト云フモノガ破産債權者トシテ、後段ノ場合ニ於テ權利

ヲ行使スルト云フコトハ、事實無イコトニナルノデアリマ
ス、亦同シト書キマシタガ爲ニ、相續債權者及ビ受遺者
ト云フ者ガ共ニ入ルヤウニ見エラナイカト云フ御質問デ
アリマス、趣旨ニ於キマシテハ唯今申シマシタ通り、後段
ノ場合ニハ受遺者ハ入ラスト云フコトニナリテ居リマス、
「亦同シ」ト書キマシタノハ、前段ノ中ニ含マレルモノニシ、
後段ニ於テ當然無イモノハ之ハ入ラナイ、斯ウ云フ積
リデ其法文ハ出來テ居ルノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒ
マス、四十二條ノ御質問ガアリマシタガ、是モ同様ノ問題
デアリマス、便宜其所ニ參リマシテ、一應説明ヲ致シタイ
思ヒマス

○菅原通敬君 極ク簡單ナコトヲ伺ヒマスガ、第三十條ニ
相續人ガ破産ノ宣告ヲ受ケタ場合ニ於テノ相續債權者及ビ
受遺者ガ、破産債權者トシテ其權利ヲ行フコトヲ得ル場合
ヲ規定シ、ソレカラ三十一條ニハ相續財產及ビ相續人、兩方
デ破産宣告アリタル場合ニ於テ、相續債權者及ビ受遺者ガ
破産債權者トシテ其權利ヲ行フコトヲ規定シテ居リマス、
相續財產ガ破産ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ、其相續者或
ハ受遺者ノ破産債權者トシテ權利ヲ行フ規定ガ見エナイヤ
ウデアリマスガ、此場合ハ十五條ノ本則ニ立歸ッデモ見ル
ト云フヤウナ御趣意ナノデアリマスカ、ドウ云フ……

○政府委員(池田寅二郎君) チョット唯今御舉ゲニナリマ
シタ場合、能ク聽取レマセヌノデ……

○菅原通敬君 相續財產ガ破産ノ宣告ヲ受ケタ場合ニ於テ
ハ、相續債權者受遺者ノ破産債權者トシテ權利ヲ行フコト
ヲ規定シテ居ラナイ、相續財產ノミガ破産宣告ヲ受ケタル
場合……

○政府委員(池田寅二郎君) 三十條ハ、相續人ガ破産宣告
ヲ受ケタ……

○菅原通敬君 三十一條ハ相續財產及ビ相續人ガ破産宣告
ヲ受ケタ場合デ、單ニ相續人ノミガ破産宣告ヲ受ケタ場合
ノ規定ガナイ

○委員長(伯爵松平賴壽君) チョット速記ヲ止メテ……

〔速記中止〕

○委員長(伯爵松平賴壽君) 速記ヲ始メテ……

○政府委員(池田寅二郎君) 唯今ノ御質問ノ趣旨ハ、相續
財產ガ破産ヲ致シマシタトキニ、相續債權者受遺者等ガ、破
産債權者トシテ權利ヲ行フコトヲ明文ガナイノハドウ云フ
譯デアアルカ、斯ウ云フ御尋ノ趣意デアリマシタガ、ソレハ三

十四條、四十二條等ノ規定ノ趣旨カラモ分リマスルノミナ
ラズ、ソレガ即チ相續財產ニ對スル破産ノ當然ノコトデア
ルト云フコトデ、自ラ分ルデアラウト云フ意味ト心得マス
ケレドモ、尙ホ又更ニ取調ベマシテ補足スル必要ガアリマ
シタナラバ、其際ニ補足致シタイト思ヒマス

○菅原通敬君 法ノ目的トシテ居ル所ハ明カナノデアリマ
ス、只明文ガ缺ケテ居ルト云フダケノコトニ付テ御尋シタ
ノデアリマスガ、此四十二條ハ只順位ヲ定メタニ過ギナイ、
ソレカラ三十四條ハ、相續人ノ債權者ガ權利ヲ行フコトガ
出來ナイト云フコトデ、禁制シタ規定ニ過ギナイノデ、
相續債權者ガ權利ヲ行フコトガ出來ルト云フコトノ明文ガ
缺ケテ居ル故ニ、御尋ヲシタヤウナ譯デアリマスガ、御説明
ノ趣旨ハ能ク分リマシタ、ソレカラ三十三條ニ付テ御尋ヲ
シテ見タイト思ヒマス、相續人ト被相續人トノ間ノ權利義
務ノ消滅シタルモノト看做スト云フコトハ、或ハ相續ニ付
テ限定承認シタ場合ニ限ルカト思ウテ居リマスガ、サウ
デアリマスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 民法ノ規定ニ依リマス、同
様ニナリテ居ルト思ヒマス

○菅原通敬君 サウシマス云フコト、此所ノ第三十三條ノ
相續債權者ト同一ノ權利ヲ有スト云フ此規定ハ、相續ノ單
純承認シタ場合ハ取除カレル意味ニナラヌノデスカ、現
ニ相續人單純承認ヲナシタルトキニハ此限ニアラズト云フ
但書ガ付イテ居リマスネ

○政府委員(池田寅二郎君) 相續財產ニ對シテ破産ノ宣告
ガアリマシタトキニハ、相續財產ト云フモノヲ恰モ一ツノ
人格者ノヤウニ見マシテ、サウシテソレニ對スル債權債務
ノ清算ヲスルト云フノガ、破産ノ目的ニナリテ居リマス、恰
モ限定承認ガアリマシタトキト同様ニ取計フノガ、寧ロ此
趣旨ニ合スルモノデアラウト云フコトニナルカト思ヒマ
ス、デアリマスカラ被相續人ノ債務消滅ノ爲ニ、相續人ガ或
ル出費ヲナシタルト云フ場合ニハ、並ビニ相續人ニ對シテ債
權ヲ有ッデ居ルト云フ場合ニハ、於キマシテハ、其債權並ニ出費
ニ、債務消滅ノ爲ニ出費ヲナシタ、ソレ等ノモノト云フモノ
モ、矢張り相續財產ト云フモノ一ツノ計算ノ中ニ、債權債務
ノ中ニ這入ッデ來ルト云フコトニ取計フト云フノガ、至當ノ
コトデアラウト云フ所カラ此規定ガ出來タト思ヒマス、恰
モ先代ニ向ッデ債權ヲ有スルモノト同様ニ取扱フノデ、同一
ノ權利ヲ有スト云フコトニナリタラウト思ヒマス

○菅原通敬君 ソコハ分リマシタノデスガ、破産法ニ但書ガ付イテ、單純承認アリタルトキハ此限ニアラズト云フ例外規定ガアリマス、ソレヲ御除キニナツタ御趣意ハ何處ニアリマスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 純單承認ヲ致シマシタ場合ニハ、結局相續財産ノ破産ガ結了シマシテ、殘餘財産ガアリマシタナラバ……ソレハ間違ヒマシタ、今ノハチヨット取消シマス……

○菅原通敬君 チョットハ速記ナシ……

○委員長(伯爵松平賴壽君) ソレデハ速記ヲ止メテ……

〔速記中止〕

○委員長(伯爵松平賴壽君) ソレデハ速記ヲ……

○政府委員(池田寅二郎君) 三十三條ニ付テ、只今ノ御尋ハ、前ノ草案ニハ此條ニ單純承認ガアツタ場合ニハ、此限リニアラズト云フ除外例ガ附イテ居ルノニ、此法文ニ附イテ居ナイノハドウ云フ譯デアアルカト云フ御質問ノヤウニ承リマシタ、此條文ハ單純承認ノアツタ場合ト、限定承認ノアツタ場合ニ拘ラズ、相續財産ニ對シテ、尙モ破産ノ宣告ガアツタ以上ハ、相續人ガ被相續人ノ先代ニ對シテ有シテ居タ債權、並ニ先代ノ債權ヲ消滅セシムル爲ニ、辨濟其他ノ方法ノ爲ニ、出費ヲ爲シタ、金ヲ出シタ、是等ノモノハ矢張り相續財産ニ對スル一ツノ請求權ト見テ、サウシテ恰モ相續權者ノヤウニ之ヲ取扱フテ、破産手續ノ權利ヲ行ハシムルト云フ趣旨デアリマス、限定承認ノ場合ト、單純承認ノ場合トニ區別ナク行ハレルモノデアアルト云フ趣旨デ、但書ガ創ラレタコトト思ヒマス

○藤田四郎君 是ハソレデ宜シイデアリマセウケレドモ、三十條ノ書キ具合ハ、矢張り是ハ「對シテ」トヤツテハイカナ「相續人」ニ對シ破産ノ宣告ヲ受ケタル「ト」云フノヲ、ナイノデアリマセウカ、是ダケ文面ガ變テ來ルノデアリマセウカ、ソレ程區別ガナイヤウニ見エルガ、是デモ解ルコトハ解リマスガ、何カ是ハ意味ガアリマスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 是ハ特別ノ意味ハナカラウト思ヒマスケレドモ、只文字ノ都合デ斯様ニ書イタモノト思ヒマス

○委員長(伯爵松平賴壽君) 如何デスカ、御質問アリマセヌカ、三十七條マデノ所デ御質問ゴザイマセヌデスカ

○藤田四郎君 又アリマシタラ後デ申上ガマスカラ、一ツ……

○委員長(伯爵松平賴壽君) 先ニ參リマシテ、三十八條、四十條、四十一條マデ、切リマシテ如何デスカ、御説明ア一ツ願ヒタウゴザイマス

○政府委員(池田寅二郎君) 此説明ニ入リマス前ニ、一寸先程ノ菅原君ノ御質問ニ對スル御答ヲ補充シテ置キマス、相續財産ニ對シテ破産ノ宣告アリタルトキハ相續債權者ハ其破産財團ニ對シテ權利ヲ行フコトヲ得ト云フコトハ、寧ロ此三十一條ノ中ニ包含セラレテ居ルモノトモ見ラレルト思ヒマス

○菅原通敬君 私モ一時ハ左様ニ考ヘテ見タノデアリマスルガ、及「ト」云フ文字ノ使ヒ方ハ、此ノ文例ニ依ルト云フト、同時ニ兩者起ル場合ニシカ「及」ト云フ文字ヲ使ッテ居ラヌノデアリマス、ソノナラズ此三十一條ノ此理由書ノ説明ニモ、本條前段ハ相續財産及相續人ニ對シ同時ニ破産ノ開始アリタル場合ニ關シ「云々」ト書イテアル、矢張り是ハ同時ニ兩者破産ノ宣告ヲ受ケタ場合ノ規定トシカ見ラヌヤウニ思ヒマス

○政府委員(池田寅二郎君) 左様デアリマスガ、矢張り其中ニ今御質問ノ場合モ自ラ規定サレテ居ルモノト解釋ガ出來ル、斯ウ思ヒマス

○藤田四郎君 併シ菅原君ノ言ハレタ通り、「及」ト云フ字ガドウシテモ重イノデアアル、説明ノ中ニモ同時ニ破産ノ開始アリタル場合、同時ニ破産ノ開始、片方ダケデハ這入ラヌヤウニ解サナケレバナラス、説明ノ方ニモ同時ニトアリマス

○政府委員(池田寅二郎君) 無論同時ノ場合ノ規定デアリマス、今ノ御質問ノ場合ニモ此規定ノ趣旨カラモソレハ分別ト思フ、相續財産ニ對シテ破産ノ宣告ガアリタルトキニ、相續財産所有者ハ各破産財團トアリマスカラ、是ハ兩方ノ場合ノ規定デアリマスガ、相續財産ノ破産財團ニ對シテ其權利ヲ行ヘルト云フコトハ、是カラモ分ルト、斯ウ云フ意味デアリマス

○藤田四郎君 事柄ハ知リマセヌガ、唯想像デ知ルノデスガ、此方ノコトハ普通ノ民法ノ規定ニ依ッテ極マッテ居ルノデハナイカ、是ハ知ラズニ盲滅法デ言フノデアリマスガ、民法ノ方ニ一體通則ノ方ニ極マッテ居ッテ、是ハ同時ニ起ッタ場合デ、民法ニ規定ガナイカラ斯ウ云フモノガ出タノデハナイカ、是ハ知ラズニ言フノデアリマス

○政府委員(池田寅二郎君) 破産宣告ノ場合ニ、破産財團ニ對シテ權利ヲ行フコトハ、ソレハ破産法デ規定サレルコトニナリマス、民法ノ方デ特ニ破産債權者ラシテ權利ヲ行フト云フ規定ハ、ナイモノト心得マス

○藤田四郎君 サウスルト菅原君ノ言ハレルヤウニ、足ラナイモノガ出來テ來マス、是デドウシテモ入ルトハ取レナイノデアリマス

○政府委員(池田寅二郎君) 先程カラ申シタヤウニ、此規

定並ニ先程言ヒマシタ其規定ノ趣旨カラ、ソレハ親ハレルト云フコトニ御聽取リ置キヲ願ヒマシテ、更ニ又補充イタシマス必要ガアリマシタナラバ、其際申シ足スコトニ致シタイト思ヒマス、三十八條カラ……三十八條ハ破産債權トナラナイ債權ニ付テ規定ラシテ居リマス、ソレハ第一ニ破産宣告後ノ利息、第二ハ破産宣告後ノ不履行ニ因ル損害賠償及違約金、此二ツハ權利關係ノ基本ハ宣告前ニアリマシテ、即チ利息ヲ生ズル契約ト云フモノハ前ニアリマシテ、其後ニ利息ト云フモノガ生ズル、又契約ハ前ニアリマシテ其不履行ト云フモノハ後ニ起ル、ソレニ因テ損害賠償違約金等ヲ拂フト云フ、茲ニ義務ガ生ズルト云フコトニナリマスノデ、嚴格ニ申セバ或ハ宣告前ノモノトモ見ラレナイコトハアリマセヌ、併ナガラ實際的ニ之ヲ觀察シマスルト、利息ト云フモノハ元本ノ使用ノ對價デアアル、即チ日々生ズルモノデアアル、破産手續後ニ生ズル所ノ利息ト云フモノハ、矢張り破産手續後ノ請求權ト寧ロ見ル方ガ適當デアアルマイカ、宣告後ノ不履行ノ場合ニ於キマシテモ、不履行ト云フ其事實ニ依ッテ、損害賠償違約金ト云フモノガ生ズルノデアリマス、不履行ガ宣告後ニ生ズル以上ハ、矢張り是モ全體カラ見テ宣告後ニ生ズル權利ト見ル方ガ適當デアラウ、云フコトカラシテ是ハ破産債權トシタイト云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ三號ハ各債權者ト云フ者ガ、破産手續ニ參加ラシマス、ソレニ付テ色々費用ガ掛リマス、是等ハ全ク破産ノ宣告後ニ於テ生ズル所ノ費用デアリマス、是モ破産債權ト歸スル所ハ同ジデアアル、第四號ハ罰金、過料、刑事訴訟費用追徴金及過料ト云フ是等ノモノハ、凡テ債務者ニ對スル制裁的ノモノデアリマス、裁判ノ費用ハ稍々違ヒマスケレドモ、是モ矢張り其制裁的……制裁課スルニ付キマシテ生ジタ所ノ費用、是等ノモノハ破産者ニ對スル制裁的ノモノデアアル、之ヲ破産債權トシテ權利ヲ行フコトニ致シマスレバ、寧ロ各破産債權者ノ利益ヲ非常ニ害スル、此制裁ノ趣旨所ハ各債權者ニ歸着スルト云フヤウナ結果ニナルノデアリマスカラ、是等ハ破産債權トセザル方ガ宜カラウ、斯ウ云フ趣意カラシテ破産債權タルコトヲ除カレタノデアリマス、併ナガラ三十一條デ以テ御説明イタシマシタ通り、法人又ハ相續財産ニ對シテ破産ノ宣告ガアリマシタ場合ニハ、結局此法人ノ財産ヨリ全部ノ支拂フノ必要ガアリマスノデ、矢張り是等モ破産債權トシテ配當ヲナス、併ナガラソレハ四十六條ノ規定ニ依リマシテ、此債權ヲ支拂ヒマシタ後ニ之ヲ支拂フト云フコトニ致シテ居ル次第デアリマス、ソレカラ三十九條、四十條、四十一條、破産債權ノ順位ニ關スル規定デアリマス、破産財團ニ屬シテ居リマスル財産ニ付テ、一般ノ先取特權、例ヘバ民法ニアリマスル共益費用

ノ先取特權、雇人給料ノ先取特權ト云フモノハ、全財産ニ付テノ優先權ヲ有スルモノデ、其外先取特權トハナッテ居リマセヌケレドモ、矢張之ト同様ニ一般ノ財産ニ付テ優先權アル債權ガアルノデアリマス、例ハ保險業法ノ九十六條ナドニハ、其優先權ノ例ガアリマス、是等ノモノハ他ノ財産債權者ニ先立テ辨濟スルコトニナッテ居ルノデアリマス、ソレカラ若シ同一順位ニ於テ辨濟スベキ債權ガ幾ツモアリシタトキニハ、ソレハ債權ノ割合ヲ以テ之ヲ辨濟スル、是ハ各平等ノ原則ニ依テ辨濟スルコト云フコトヲ明カニシタモノデアリマス、ソレカラ第四十一條ハ、優先權ガ或一定ノ期間内ノ債權額ニ限ッテ存在シテ居ルト、斯ウ云フモノガアリマス、例ハ民法ノ三百九條、三百十條ノヤウニ、雇人給料ノ先取特權ハ、其雇人ノ受クバキ最後ノ六箇月間ノ給料ト云フコトニナッテ居リマス、三百十條ニハ日用品供給ノ先取特權ハ、是モ債務者又ハ其扶養スベキ同居親族等ノ生活ニ必要ナル、最後ノ六箇月間ノ飲食品等ニ付テ存在スルコト云フコトニナッテ居リマス、此六箇月ト云フ期間内ノ債權額ニ付テノミ存在スルコトニナッテ居リマス、此六箇月ト云フモノヲ起算イタシマスニハ、破産宣告ノ時ヲ基準ニシマシテ、ソレヨリ過ッテ計算スル、破産宣告ノ時カラ過ッテ六箇月分ダケノモノニ付テ、優先權ノ破産財團ニ屬セシメルト云フコトヲ決メタノデアリマス、破産宣告ノ時ヲ以テ債權其モノ、額ヲ決メルト云フ、此基準ニ依テ此通リ定メラレタ次第デアリマス

○委員長(伯爵松平賴壽君) 御質問ヲ願ヒマス

○菅原通敬君 此四十一條「破産宣告ノ時ヨリ過リテ之ヲ計算ス」ト云フノハ、唯今ノ御引用ニナッテ例ハ六箇月ト云フ期間ハ、破産宣告ノ時ヨリ過ッテ六箇月間分ノモノヲ優先ニサセルト云フノデアリマス、或ハ破産宣告ノ時カラ三箇月デ了ルモノモアレバ、二箇月デ了ルモノモアッテ、最初債權債務ノ生ジタ時カラ計算スルト、三箇月トカ、二箇月トカデ了ルモノモアラウト思ヒマス、サウ云フ場合ハ起リマセヌカ、必要ノナイ場合ニ、二箇月デ……

○政府委員(池田寅二郎君) 唯今ノ御尋ノ趣旨ヲ聞達ヘテ居ルカ知レマセヌガ、御尋ノ趣旨ハ、破産宣告前三箇月位ニ雇人レタ者ガ居ル、斯ウ云フ者ニ付テハ過ッテ六箇月分ト云フモノニシテアルノデアリカ、或ハ三箇月分ト云フコトニスルノデアリカ、斯ウ云フノデアリマス

○菅原通敬君 サウデアリマス

○政府委員(池田寅二郎君) 是ハ只今御想像ノ通り三箇月デアリマスナラバ、其三箇月ニスルコトニナリマス、爰デ想像シテ居リマスノハ、一年前カラ雇ハレテ居ル、斯ウ云フ者ハ宣告ノ時カラ過ッテ六箇月ト看ル、斯ウ云フ趣意デアリ

マス

○藤田四郎君 是ハ餘計ナコトカ知レマセヌガ、民法ノ三百十條ノ方ハ、出入商人ノ如キ者ハ先取特權ガアルト見テ宜シノデアリマスナ

○政府委員(池田寅二郎君) 左様デゴザイマス

○委員長(伯爵松平賴壽君) 如何デスカ、御質問ハ……

○藤田四郎君 アトヲ願ヒマス

○委員長(伯爵松平賴壽君) ソレデハアトニ參リマシテ、四十二條ヨリ四十六條マデ願フコトニ致シマス

○政府委員(池田寅二郎君) 四十二條ヨリ四十五條ニ至リマスル規定ハ、相續ノ關係ニ於ケル破産ノ場合ニ於キマシテ、各債權者ノ債權ノ順位ヲ決メタモノデアリマス、大體ノコトヲ申シマスレバ、相續財産ニ付テ破産ノ宣告ガアリマシタナラバ、相續債權者受遺者、前主ニ付テ破産ノ宣告ガアリマシタナラバ、前主ノ破産財團ニ付テハ、前主ノ相續開始後ノ債權者、相續人ニ付テ破産ノ宣告ガアリマシタナラバ、相續人ノ債權者ト、是等ノ者ガ諸リ各、固有ノ財團ニ付テハ、他カラ這入ッテ來タ者ヨリモ優先ノ權利ヲ以テ權利ヲ行フト云フ事ニ、大體ハナッテ居ルコトト思ヒマス、其標準ガドコマデ徹底シテ居ルカ分リマセヌケレドモ、大體マアサウ云フ標準決マッテ居リマス、四十二條カラ御説明ヲ申上ゲマス、相續財産ニ對シテ破産宣告ガアリマシタトキニハ、相續債權者及ビ受遺者ノ債權ト云フモノハ、相續開始後ノ前主ノ債權ニ先ダツ、デ相續財産ニ付テ破産ノ宣告ガアリマシタトキニハ、十三條ノ規定ニ依リマス「隱居又ハ入夫婚姻ニ因ル家督相續ノ場合ニ於テハ留保財産モ亦破産財團ニ屬ス」ト斯ウ云フコトニナッテ居リマス、前主ノ破産財團ニ屬スル居ル財産ガアリマシテモ、其財産ハ尙モ相續財産ニ付テ破産ノ宣告ガアルト云フ場合ニハ、總テ其相續財産ノ破産財團中ニ之ヲ取入レル、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデアリマス、ソレカラ三十五條ニ依リマス、相續財産ニ對シテ破産ノ宣告ガアリマシタトキニ、其留保財産ガアリマスルコトキニハ、前主ノ債權者ト云フモノハ、矢張リ破産債權者トシテ其權利ヲ持ツト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、ソコデ此場合ニハ、此トチラガ優先スルカト云フ問題ガ起ッテ參リマス、相續債權者及ビ受遺者ノ債權ガ、相續開始後ノ前主ノ債權ニモ優先スル、即チ相續財産ト云フモノハ、謂ハバ相續債權者受遺者中ノ固有ノ財團デアリマス、其者ガ優先スルコト云フコトニナッテ居リマス、ソレカラ第二項ハ、相續債權者受遺者中デハ、此相續債權者ノ方ガ受遺者ノ債權ニ先ダツト云フ事ニナッテ居リマシテ、是ハ寧ろ民法ノ千三十三條ノ規定ノ趣旨ヲ受ケタモノデアルト思フノデアリマス、ソレカラ第四十三條ハ「相

續財産ニ對シ破産ノ申立ヲ爲スコトヲ得ル期間内ノ申立デニ因リ相續人ニ對シテ破産ノ宣告アリタルトキ」ト云フコトガアリマス、是ハ少シ御分リ惡イト思ヒマスガ、千三十一條ヲ御覽下サイマス、相續財産ニ對シテハ民法第千四十一條ノ規定ニ依リ財產分離ノ請求ヲ爲スコトヲ得ル間ニ限リ破産ノ申立ヲ爲スコトヲ得、マア大體斯ウナッテ居リマス、モウ少シ條件モアリマスルケレドモ、大體斯ウナッテ居リマス、即チ財產ノ分離ヲ請求スルコトガ出來ル其間ニハ相續財産ニ對シテ破産ノ申立ガ出來ル、此趣旨ハ相續財産ニ對シテハ破産ノ申立ヲシテ、サウシマス「ト云フコトヲ相續財産ト云フモノヲ全ク一ツノ別財團トシテ引離ス、斯ウ云フコトニナルノデアリマシテ、ソコデ此財產ノ分離ヲ爲シ得ル期間内ニ申立ヲシナケレバイカナイト云フコトガ、百三十一條ニ書イデアリマス、ソレヲコ、ニ受ケテ參リマシテ、其申立ヲ爲スコトヲ得ル期間内ノ申立ニ因リ、即チ相續財産ノ分離ガマダ爲シ得ル間ニ破産ノ申立ガアリマシテ、其中立ニ依テ相續人ニ對シテ破産ノ宣告ガアッタ、斯ウ云フ場合デアリマス、即チ其場合ニハ此相續財産ト云フモノハ、全ク別ノ財團トシテ一ツ取扱ハレテ居ル譯デアリマス、デ其場合ニ此相續人ニ對シテ、破産ノ宣告ガアリマスレバ、相續人ノ財團トシテララ相續財産ト云フモノハ、全ク綺麗ニ引離サレテ居ル譯デアリマス、ソコデ此場合ニ債權者トシテ掛ッテ參リマスモノハ、相續人ノ本來ノ債權者ト、ソレカラ前代ノ相續債權者及ビ受遺者、是ガ此相續人ノ破産ニ加入シテ參ルノデアリマス、デ此場合ニ優先ノ差ヲドウ付ケルカト申シマスレバ、矢張り前ニ申シマシタ標準ニ依リマシテ……御仕舞カラ申シマス、相續財産ニ付キマシテハ相續債權者及ビ受遺者ノ債權ガ、是ガ固有ノ債權者デアリマス、其債權ガ相續人ノ債權者ノ債權ニサレマス、ソレカラ殘ル所ノ相續人ノ固有ノ財產、之ニ對シマシテハ相續人ノ本來ノ債權者デアル所ノ、相續人ノ債權者ト云フモノガ、前代ノ債權者トシテ加入シテ來マシタ所ノ相續債權者受遺者ノ債權ヲ、先キニ返濟ヲ致スト云フコトニナッテ居ル譯デアリマス、ソレカラ矢張り同ジ様ナコトデアリマス、第四十四條ハ相續財産及ビ相續人ニ對シテ破産ノ宣告ガアリマシタトキニハ、相續人ノ債權者ノ債權ト云フモノハ、相續人ノ破産財團ニ付キマシテハ矢張り他カラ這入ッテ參リマシタ所ノ、前代ノ債權者タル相續債權者及ビ受遺者ノ債權ヨリ先キニ居ルト前主トノ間ニ、前主ニ對シテ破産ノ宣告ガアリマシタトキニハ、相續開始後ノ前主ノ債權、是ハ前主ノ破産財團ニ付テハ矢張り其者ガ優先スル、相續債權者ノ債權ヨリモ優先スル、斯ウ云フコトニナッテ居リマシテ、各、

其間有ノ財團ニ付テハ其者ガ先ヅ、斯ウ云フ趣旨ヲ規定セラレテ居ルノデアリマス、ソレカラ四十六條ハ、二十一條ヲ説明イタシマシタトキニ略、説明サレタカト思ヒマス、又三十八條ノ場合ニ於テモ是ガ引用サレテ居リマシタ、即チ法人又ハ相續財産ニ對シテ破産ノ宣告ガアリマシタトキニハ、今ノ中間利息ノ割引ニ當ル所ノ金額、ソレカラ三十八條ニ掲ゲテアリマスルヤウニ宣告後ノ利息、損害賠償ノヤウナモノハ、矢張り破産債權者トハスルケレドモ、他ノ債權者ヲ返済シ終ッテ後ニ之ヲ返済スル、是ハ度々申上ゲマシタヤウニ、法人相續財産ト云フモノハ、其破産手續デ以テ全部ノ財産ト云フモノヲ處分スルト云フコトニナリマスカラ、隨テ此規定ガ置カレタ譯デアリマス

○河村護三郎君 四十二條ノ明文ニ付キマシテハ、三十一條ニ付テ質問ヲ致シマシタ際ニ、一寸疑フ述ベテ置キマシタガ、更ニ此際質問ヲ致シマス、四十二條ハ相續財産ニ對シテ破産ノ宣告ガアツタ場合、各種ノ債權ノ破産法上ノ順位ヲ定ムル規定デアルト云フコトノ御説明ガアリマシタ、ソレデ相續人ノ死亡ニ依テ相續ノ開始ノアリマシタ場合ニ、相續財産ニ對シテ破産ノ宣告ガアツタト云フコトニキニハ、其破産手續ニ權利者トシテ加ハリマスルモノハ、被相續人ノ債權者及ビ受遺者デアリマス、債權者ト受遺者トガ、何レガ先キニ辨濟ヲ受ケルノカト云フコトハ、問題ニナルノデアリマスガ、ソレハ此第二項ニ依テ債權者ハ受遺者ニ先ヅ立フト云フコトガ規定セラレテ居ル、是ハ當然トコトダラウト思ヒマス、死亡以外ノ原因ニ依テ相續ノ開始ガアリマシタ場合、例ヘバ隱居ノ場合ニ於キマシテ、相續財産ニ對シテ破産ノ宣告ヲ受ケタト云フ時ニ、其破産手續ニ權利者トシテ加ハリマスルモノハ、被相續人ノ債權者即チ相續開始前ニ於ケル被相續人ノ債權者、相續開始後ニ於ケル債權者、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、隱居前ノ債權者ト隱居後ノ債權者ガ破産手續ニ加ハリマシテ、何レガ先キニスルカト云フ問題ガ生ズルノデアリマス、其場合ニ隱居前ノ債權者ハ、隱居ノ債權者ヨリモ先キニ辨濟ヲ受ケルト云フコトヲ、第一項ニ規定セラレタモノデハナイカト思フノデアリマス、サウシマスルト、此相續債權者ノ受遺者デアリマス、受遺者ト云フモノハドウモ學ガテナイガ當然デハナイカト思ヒマス、三十一條ノ方ハ「亦同シ」ト云フヤウナ規定デアリマスカラ、受遺者ノアル場合ハ受遺者ヲ學ゲル、受遺者ノナイ場合ハ相續債權者ダケニ付テノミ學ゲル、斯ウ讀ムコトモ餘地ガアリマスケレドモ、本條ノ第一項ノ方ハハッキリト相續開始後ノ前主ノ債權者又ハ受遺者トアル、隱居等ノ場合ハ明カナル規定ノヤウニナッテ居リマスガ、少シ受遺者ト云フ言葉ノ這入ッテ居リマスノハ、ドウ云フモノデアアルカト云フ

疑ヲ引ク嫌ガアルヤウニ思ヒマス、ドウ云フモノデアリマセウカ、一應御説明ヲ煩ハシタイト思ヒマス

○政府委員(池田寅二郎君) 只今ノ御尋ノ御趣意、相續財産ニ對シテ破産ノ宣告ガアツタ、サウシテ前主ノ相續開始後ノ債權者ト云フモノガ、之ニ加入ヲシテ參ル場合ヲ想像スル、即チ隱居等ニ依ル場合ニアリマスルカラ、前主ハ尙存在シテ居ル、然ルニ前主即チ前代ノ債權者トシテ相續債權者ガアルノハ、ソレハ無論相當デアアルケレドモ、受遺者ト云フモノハマダナイ筈デハナイカ、前代ノ死亡ニ依テ始メテ茲ニ起ッテ來ルモノデアアル、然ニ此受遺者ノ債權ト云フモノハ、前主ノ相續開始後ノ債權者ノ債權ニ先ヅツト云フコトヲ書イタノハ、ドウ云フ意味デアアルカ、理由ガナイデハナイカト云フ御質問ト承ハリマシタ三十一條デ以テ申述ベマシタ通りノ理由ニ依リマシテ、誠ニ御尤ノ御質問ト思ッテ居リマス、如何ニモ受遺者ト云フモノガ此場合ニ、破産債權者トシテ權利ヲ行フト云フコトハナイ、受遺者ガマダ無イ場合デアリマスカラ、規定ノ趣旨ハ前ニ申シタ通りニ、本則ノ債權者ノ債權ト云フモノガ、外ヨリ加入シテ來ルモノヨリ先ヅツト云フ趣旨ニ外ナラナイノデアリマス、受遺者ガ茲ニ這入ル所ノ場合ハ、如何ニモナイヤウデアリマスガ、或ハ是ハ解釋ヲスルコトニナリマスレバ、受遺者ハナイカ、法權利ヲ行フトコトハナイト解釋スルヨリ外ハアリマセス、法文ノ形トシマシテハ、受遺者ト云フモノハ無イ方ガヨリ適當ト心得テ居リマス

ウ云フ趣意デアリマセウカ、原案ノ趣意ノ御説明ヲ願ヘバ、ソレデ宜シイノデアリマス

○政府委員(池田寅二郎君) 先キノ説明ガ少し不足デアリマシタカ分リマセスガ、唯今御尋ガアリマシタカラ、更ニ説明イタシテ置キマス、四十三條ノ場合ハ相續人ガアルノデ、相續財産ガ破産ヲシタ場合ハ見テ居ラナイ、相續人ノミノ破産ノ場合ヲ見テ居ルノデアリマス、相續財産ガ破産ノ宣告ヲ受ケマシテモ、三十四條ノ規定ニ依リマシテ、相續人ノ債權者ハコチラノ方ノ財團ニハ掛ッテ參ラナイコトニナッテ居リマス、之ニ反シマシテ、相續人ガ破産ノ宣告ヲ受ケマシタ時ハ、三十三條ノ規定ニ依リマシテ、相續債權者ハ受遺者ト云フ者ガ相續人ノ財團ノ方ニ掛ッテ參ルコトガ出來ル、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデアリマス、ソレデ四十三條ノ場合ニ於キマシテハ、相續人ガ破産ヲ致シマシタトキニ、相續人ノ債權者ガ破産債權者トナリマスコトハ勿論ノコト、先代ノ債權者即チ相續債權者ト云フモノモ、三十三條ノ規定ニ依リマシテ、相續人ノ財産ニ掛ッテ居ルノデアリマス、ソコデ此四十三條ノ場合ニ於キマシテハ、即チ財産ガマダ分離シ得ル狀態ニ於テ破産ノ申立テガアツタ譯デアリマスカラ、此場合ハ相續人ハ破産ガアリマシタトキハ、所謂相續財産ト相續人財産ハ分別セラレテ取扱ハレテ居ルノデアリマス、等シクツツノ相續財産ニナリマスガ、斯ウ云フ財産モ併ナガラ分別シテ取扱ハレテ居ルコトニナッテ居リマス、ソコデ各財團ノ中ニツツノ財産ト云フモノガ出來ルヤウナ形ニナリマス、ソコデ相續人ノ固有財産ニ付テハ相續人ノ債權者ガ優先ヲシ、相續財産ニ付テハ先代ノ債權者ノモノニスル、斯ウ云フコトヲ決メタノデアリマス

○河村護三郎君 了解イタシマシタガ、サウマスト十三條ノ規定デスガ、破産ノ宣告アツタトキハ留保財産モ財團ニスル、此十三條ノ適用ハアルモノト解シテ宜シイデスカ、少シソコニ疑ヒガアリマスカラ

○政府委員(池田寅二郎君) 第十三條ノ規定ハ、相續財産ニ對スル破産ノ宣告ヲ定メタノデゴザイマス、四十三條ニ規定セムトシマス所ハ、相續人ノミノ破産ノ場合ヲ見テ居ル次第デアリマス、チヨット場合ガ違フカト考ヘテ居リマス

○河村護三郎君 チヨット速記ヲ止メテ……

○委員長(伯爵松平賴壽君) チヨット速記ヲ止メテ……

○委員長(伯爵松平賴壽君) ソレナラ速記ヲ始メテ……

○政府委員(池田寅二郎君) 唯今四十三條ノ場合ハ、十三條ガ適用サレルカドウデアラウカ、即チ此四十三條ノ中ノ相續財産ト云フモノノ中ニハ、留保財團ヲ含ムヤ否ヤト云フ斯ウ云フ御質問ト承ハリマシタガ、ソレハ相續財産ニ對

シテ破産ノ宣告ガアツタコトヲ見タヤウニ思ヒマス、是ハハ

シマシテ、破産ノ宣告ガアリマシタトキニハ、留保財團ト雖モ之ヲ相續財産ノ中ニ繰入レテ、相續債權者ヲ十分満足セシムルト云フコトニナル。是ガ十三條ノ趣旨ニナッテ居リマス、相續財産ニ對シテ破産ノ宣告ガ無い、又相續財産ハ破産ノ必要ガナイ、斯ウ云フ場合ニ於キマシテハ、留保財産ト云フモノハ、矢張り民法ノ規定ニ依リマシテ、先代ノ物ニナッテ居リマス、相續財産ノ中ニハ入ラナイモノト見ナケレバナラヌ、ソレデ四十三條ノ場合ニハ相續人ノ財産ノ場合ヲ見テ居リマスカラ、此場合ハ相續財産ト云フ中ニハ留保財産ハ入ッテ居ナイモノト解釋スル、サウ云フ旨デアリマス。

○河村讓三郎君 チョットモウ一ツ御尋ネ致シマスガ、十三條ノ末段ニ相續財産ニ對シテ云々アリマスガ、是ハ必要ノナイモノデハナイノデセウカ、是ハ何カ理由ガアリマスカ、ソレヲ一ツ……

○菅原通敬君 ソレニ關聯シテチョット伺ヒマスガ、相續人ガ破産ノ宣告ヲ受ケタ場合ニ、相續人ノ債權者ハ、破産債權者トシテ權利ヲ行フコトガ出來ルモノデスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 出來マス、相續人破産ノ場合ニ……

○菅原通敬君 相續人破産ノ場合ニ、相續人ノ破産債權者ハ相續財産ニ對シテハ……

○政府委員(池田寅二郎君) ソハレ出來ナイコトニナッテ居リマス

○菅原通敬君 出來ナケレバ、此處ノ後段ノ、相續人ノ債權者ニ先ダツト云フ場合ガ起ッテ來ル債權ヲ、執行スルコトガ出來ナイデス

○政府委員(池田寅二郎君) 只今ノ御尋カラチョット先ニ御答致シマス、相續人ノ債權者ガ相續財産ニ對シテ權利ヲ行フコトガ出來ナイト云フ場合ハ、三十四條ニ規定ガアリマス、相續財産ニ對スル破産ノ宣告ガアツタ時ニ限ッテ居ルノデアリマス、其トキニハ相續人ノ債權者ト云フモノハ、其ノ相續財産ト云フモノノ破産財團ニ對シテハ權利ヲ行ハナイト云フノガ、三十四條ノ趣旨デアリマス、只今ノ御質問ノ三十四條ノ場合ハ、相續人ノ破産ノ場合、相續人ノ破産デアリマス、其者ノ財團ト云フモノハ、相續人ノ固有ノ財産ガ、先代者ヨリ相續シテ相續財産ニツガ集ッタルモノデ相續人破産ノ場合ニ、破産財團ト云フモノガ出來テ居ルノデアリマス、此中デ豫メ此中ヲ二ツニ區分ケシテ、本來ノ固有ノ財産タリシモノト、先代ヨリ相續シタルモノト、此二ツニ分ケテ、其自分ノ固有ノ財産ニ付テハ、自分ノ固有ノ財産ハ即チ相續人ノ債權者ガ優先權ヲ有ッテ居ル、先代ヨリ受繼イダ所ノ財産ニ付テハ、先代ノ債權者ガ優先スルト云フコトヲ書イ

テ居ル。若シ相續財産ノ破産ノ宣告ガアリマス、此場合ガ起ッテ來マス、相續人ノ債權者ハ相續財産ノ方ニ掛カレナイト云フ、三十四條ノ規定ガ適用サレマス

○菅原通敬君 相續人ノ破産ノ場合ニ、其相續人ノ債權者ハ、相續財産ニ對シテ債權ヲ行フコトガ出來ルト云フコトデアリマスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 左様デアリマス

○菅原通敬君 出來マスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 左様デス

○菅原通敬君 ソレナラ宜シウゴザイマス

○委員長(伯府松平賴壽君) 速記ヲ止メテ

〔速記中止〕

○政府委員(池田寅二郎君) 先程ノ河村サシノ御尋ニ對シテ更ニ御答シテ置キマス、四十三條ノ場合ハ相續人ニ對シテ破産ノ宣告ガアツタ場合デアリマス、而モ其破産ノ宣告ハ百三十一條ノ規定ニ依リマシテ、マダ財産ガ混ゼザル狀態、マダ財産ガ分別シ得ル狀態ニ於テ、此破産ノ中立ヲシタ、ソレニ基イテ破産ノ宣告ガアツタ場合デアリマス、此場合ニ其相續人ノ破産財團破産スルモノトシテハ、相續人固有ノ財産、竝ニ先代ヨリ相續シマシタ相續財産ト云フモノノ二ツガ集ッテ、一ツノ相續人ニ付キマシテ破産財團ヲ形造テ居ル次第デアリマス、所ガ此財産ト云フモノハ、兩者恰モ別々ノ財團デアルカノ様ニ別々ニ之ヲ取扱ヒマシテ、サウシテ其各部分ニ付キマシテ相續債權者竝ニ相續人ノ債權者ハ、權利順位ト云フモノノ極メル必要ガアルノデアリマス、ソレデ此相續人ノ固有ノ財産ニ付テハ、相續人本來ノ債權者デアル相續人ノ債權者ト云フモノガ取ル、相續財産ニ付キマシテハ、是ハ又相續財産ニ付テハ破産ガアルト云フ譯デアリマセスケレドモ、併ナカク相續債權者ト云フモノハ、此上ニ優先權ヲ持ツト云フコトニ定メテ置ク必要ガアルノデアリマセ、恰モ民法ニ於テ財産分離ノ請求ガアリマシタ時ト、同様ノ趣旨ニナッテ居ル次第デアリマス

○藤田四郎君 甚ダ詰ラヌ御尋スルヤウデスガ、一ツ此際教ヘテ貰ヒタイと思フノデスガ、此民法ナリ破産法ニ於キマシテハ、何デゴザイマスカ、受遺者ノ貰フ所ノモノハ、相續者ガ法律ニ依ッテ貰フモノヨリハ重ク見テアルノデスカ、輕ク見テアルノデゴザイマセウカ、四十三條ノ末文ノ所ナド見マスルト、受遺者ノ債權トアリマシテ、片方ハ相續人ノ債權トアリマス、受遺者ノ債權ハ相續人ノ債權ヨリ先ニ取レルト云フ様ニ見エル、民法デ色々規定ハゴザイマセウカ、共ニ是ハ貰フモノニ付テハ權利ニ付テヤナイノデゴザイマセウカ、ソレトモ又相續人ノ方ノ分ハ、自分ノ有ッテ居ルモノニ付テハ債權デアッテ、受遺者ノ方ノ債權ハ、貰フモノニ

付テハ債權ト讀ムノデゴザイマセウカ、若シ兩方同ジモノニ見マシタラバ、法律ニ依テノ財産ノ方ガ、遺言ニ依テノ何ヨリ輕クナッテ仕舞フヤウニ見エルノデスガ、此文章ノ意味ハ能ク分リマセスガ、ドウ云フヤウニナルノデスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 唯今ノ御尋ハ、四十二條ノ御尋デアリマシタと思ヒマスガ……

○藤田四郎君 四十三條ノ方ノ、何方デモ行ケルデスガ、受遺者ノ債權ト云フモノハ、受遺者ガ自分ノ固有ノ有ッテ居ルモノ、及ビ親カラナリ他人カラナリ受ケル所ノ財産ニ對シテハ債權デアル、片方ノ相續人ト云ヘバ、自分ノ固有ノ財産ト親カラ受ケル財産ト共ニ、ソレニ對シテハ債權者ト見テ居ルノデ、四十二條デモ四十三條デモ、自ら受遺者ノ方ノ債權者ヲ重ジテ、相續者ノ債權者ヲ輕ンジテ居ルヤウニ思フ、相續財團ニ付テハ方ハ議論ハナイ、サウデナイト貰フ方ノコトデ、是ハ私ノ讀ミヒデアルカモ知レマセンガ……

○政府委員(池田寅二郎君) 或ハ御尋ノ趣旨ヲ誤ッテ居ルカモ知レマセスガ、其際ハ重ネテ御申間ケテ願ヒマス、四十三條デ申シマス云フコト、相續債權者受遺者ト云フモノガ、相續人ノ債權者ヨリモ先ズルコト云フコトニナッテ居リマス、此場合ニ相續債權者受遺者ト云フモノガ、何レモ先代カラ權利ヲ取得シテ居ルモノデアリマス、先代ノ債權者、先代ニ金ヲ貸シタ人、或ハ先代カラ遺言デ以テ財産ノ贈與ヲ受ケタモノト云フコトニナッテ居ル、是ハ總テ相續財産カラ貰フト云フコトニ付テハ優先シテモ差支ハナイ、所ガ相續人ノ債權者ト云フモノハ、相續人ガ自ら他ヨリ金ヲ借リタト斯ウ云フノデアリマス、相續人ノ固有ノ財産ニ付テハ、其相續人ノ債權者ト云フモノヲ先ゼシメテ差支ハナイ、ガカラ是ハ相續人ノ固有ノ財産ニ付テハ、相續人ノ債權者ト云フモノガ先ニ立ツ、先代カラ受繼イダモノニ付テハ先代カラ成立ッテ居ル所ノ債權ガ先ニ立ツ、受遺者ガ先代カラ成立ッテ居ル債權者トシテ先ニ立ツ、斯ウ云フ意味ニナッテ居リマス、其御尋デアリマシタデゴザイマセウカ

○藤田四郎君 恰モ何デゴザイマセウ、相續財團ニ付テハ債權ナラ、相續者デアラウガ、受遺者デアラウガ、皆同ジデアラウ、債權者ガ權利者デアラウ、受遺者ナドト云フモノハ權利ガ死ンダ時初テ分ルノデアアルノデスカ、相續人ノ方ハ固有ノ債權者、受遺者ノ方ハ固有ノ債權者デナクテ、親カラ受ケタル所ノモノニ付テハ債權者ト、斯ク讀ムノデスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 固有ト申シマシタノガ少シ語弊ガアツカ知レマセスガ、先代ノ債權者、相續債權者、ソレト受遺者ト云フモノハ

○藤田四郎君 相續債權者ナラ議論ハナイノデス、受遺者ト云フモノハ相續者ノ身分ノ輕イノガ受遺者デ、相續者ハ

重イモノデ、法律ニ半分ナラ半分ヲ貰フ權利ガアル、其後ノ糟ヲ貰フ債權者ガ、相續者ノ債權者ヨリ強イト云フノガ諒解シ難イ、其意味方固有ト云フノカ、ドウデスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 申シマス事ガ不徹底デアッタカ知レマセウガ、先代ノ債權者モ相續債權受遺者ト云フモノモ、矢張り先代カラ……

○藤田四郎君 相續者モ法律ニ依テ先代カラ受ケル、何方モ法律ニ依テ定マルノデアルガ、相續者ハ半分ノ權利者デアル、其半分ノ權利者ノ方ガ、貰ヘルカ貰ヘナイカ知レナイト云フモノヨリ輕イト云フノガ分ラヌ

○政府委員(池田寅二郎君) 其點ハ民法ノ問題カモ知レマセウガ、民法ニ依リマシテモ、受遺者ト云フモノハ相續人ニ對シマシテモ、一ツノ債權者タル地位ニ立チマシテ、相續人ト云フモノハ遺贈ガアリマシタイキニハ、其遺贈ノ寧ロ義務者トシテ、被相續人カラ受ケルイダモノヲ、其遺言ノ意思ニ從テ受遺者ニ渡ス所ノ債務ガアル位デ、遺贈ニナツタモノヲ相續人ガ自ラ取得スルト云フコトハ、民法ニ於テモ無イ譯デアリマス、先代ガ遺言デ處分シテ置キマスレバ、ソレハ遺留分等ノ規定ニ反セザル限リハ、何處マデモ相續人ハ必ズ受遺者ニヤラネバナラヌト云フコトニナツテ居ルヤウデアリマス

○藤田四郎君 ソレハ半分デ居リマスガ、受遺者ノ方ノ債權者ガ相續者ノ債權者ヨリ先キト云フノハ……

○委員長(伯爵松平賴壽君) 速記ヲ止メテ……

○委員長(伯爵松平賴壽君) 速記ヲ始メテ……如何デスカ、御質問ゴザイマセウケレバモウ少シ、四章ダケ今日ヤッテ仕舞ヒマセウ、第四章財團債權、四章全部御説明ヲ願ヒタウゴザイマス

○政府委員(池田寅二郎君) 本章ハ財團債權ニ關スル規定デアリマス、現行法ニ於キマシテモ之ニ相當スルモノハ多少アリマス、ケレドモ、規定モ極メテ不備デアリマシタシ、財團債權ニ付キマシテモ名稱ヲ附サレテ居ルノデナモイノデ、詰リ財團債權ト申シマス、大體ニ於テ申シマス、破産手續ヲ實行スルト云フコトニ付テ入費ガ掛ル、是ハ詰リ破産債權者等ノ權利ヲ行フ、破産手續ニ依ラズシテ是ハ先ニ支拂ヒラセナケレバナラヌ、恰モ此破産財團ト云フモノガ……無論人格者デハアリマセウケレドモ、一ツノ計算ノ主體ト云フヤウナ形ニナリマシテ、ソレガ寧ロ債務ヲ負擔シテ居ルト云フヤウナ狀態デアリマス、カラ、之ヲ財團債權トスルト云フ事ニナツテ居ル譯デアリマス、今申述ベシタモノ、ミニハ限リマセウ、是ト同様ニ取扱フベ

キモノヲ茲ニ列舉シテアリマスガ、大體中心トナリマスモノハ、破産手續ヲ行フニ付テ生ズル所ノ入費ト云フモノ、及ビ是ト同様ニ取扱フベキ性質ノモノハ、之ヲ財團債權トシテ、支拂フ爲サウト云フコトニナツテ居ル次第デアリマス、第四十七條ハ、財團債權トスルモノヲ列舉シテ居ルノデアリマシテ、財團債權ハ必シモ之ニ限ラズ譯デアリマセウデ、此外ニ於キマシテモ、財團債權トスルコトノ必要ヲ認メマシタモノハ、例ヘバ此案ノ六十條トカ、六十九條トカ、七十八條ト云フヤウナ所デ以テ、各條此原理ハ……財團債權トシテ行ハシムルト云フ事ヲ、各個ノ條文ニ規定シテ居ルモノモアリマス、デ先ヅ茲ニ掲ゲテアリマスモノヲ説明イタクシマス、第一號ハ破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニスル、裁判上ノ費用ト云フ事ニナツテ居リマシテ、即チ破産ノ申告ノ中立カラ、破産ノ終結ニ至リマスルマデ、裁判上ノ手續ヲスルニ要シマシタ費用ヲ總稱イタクシテ居ルノデアリマス、ソレカラ第二號ハ破産手續其モノトハ關係ハナイノデアリマスケレドモ、特別ノ必要ニ依リ財團債權トシタモノデアリマス、即チ公租公課及ビ國稅徵收法、又ハ國稅デハゴザイマセウガ、國稅徵收ノ例ニ依テ徵收スル事ヲ得ベキ所ノ公課ト云フモノハ、各法令ニ幾ラモ規定シテアリマス、一例ヲ舉ゲマスト市制ノ第三百二十一條デアリマス、其手續ニ依リテ徵收スルコトヲ得ベキ所ノ請求權デアリマス、是ハ破産宣告ノ前後ト區別イタクシマシテ、前ニ於テハ凡ソ其債務者ニ對シテ生ジテ居リマシタモノハ、公租公課デアレバ總テ是ハ本來優先ノモノデアリマスカラ、財團債權トシテ先ヅ辯濟ヲ受ケシムル、併シ一旦破産ニナリマシタ以上ハ、其後ノ公租公課等ハ財團ニ關係シテ居ル者ニ限ラナケレバ妥當デナイト云フ所カラシテ、破産宣告後ノ公租公課ハ財團ニ關シテ生ジタモノニ限ラテ居ルノデアリマス、ソレカラ第三號ハ破産財團ノ管理、換價及ビ債權者ニ配當スルト云フ、此ノ手續ヲスルニ付キマシテ、破産管財人ガ色々支拂等ヲ致シマシタ所ノ實費、又破産管財人ハ或ハ監査委員等ニ支拂フ所ノ報酬等ノモノヲ指シテ居ル譯デアリマス、是等ハ全ク破産手續遂行上ノ費用デアリマス、第四號モ之ニ類シテ居リマス、破産財團ニ關シマシテ、管財人ガ色々法律行為ヲ爲シマスニ付テ、他人トノ間ニ權利關係ヲ生ズル事ガアリマス、或ハ財團ノ管理上、他人ニ對シテ請負契約ヲスル、其財團ノ請求ニ依リ財團ノ修繕ヲ請負ハシムルト云フヤウナコトモアルノデアリマシテ、三ト四トハ物ニ依リマシテ、或ハ重複イタクシマシテ何レニモ屬スルト云フモノモ生ズルカモ知レマセウガ、自ラ其間ニ區別ガアリマスニ依テ、三號ト四號ニ分ケテ書イタクデアリマス、ソレカ

ラ第五ハ事務管理、又ハ不當利得ニ依テ破産財團ニ對シ生ジタル請求權ト云フコトニナツテ居リマス、是ハ民法ノ規定ニ依リマシテ、事務管理ト云フコト、或ハ不當利得ト云フコトガ定メテ居リマス、ソレガ財團ニ付テモ生ズルコトガアルノデアリマス、例ヘバ財團ニ付キマシテ申シマスルナラバ、他人ガ破産管財人等ヨリ依頼ヲ受ケマセウデ、或必要ヲ認メテ財團ノ管理ヲスルト云フ場合ニ於キマシテハ、即チ民法ノ規定ニ依リマス所ノ事務管理デアリマス、其爲ニ矢張りソレガ必要デアリマシタ場合ニハ、其財團ニ對シテ相當ノ請求權ヲ生ズルト云フコトガ、民法ノ規定デアリマス、又財團ガ色々民法ノ規定ニ依テ、不當ニ利得ヲスルト云フコトモアリ得ルト思フノデアリマス、是等ノ場合ニモ矢張り財團其モノガ、ソレニ依テ利益ヲ受ケテ居ルト云フコトニナリマスカラ、其請求ハ財團ノ債務……謂ハバ財團ノ債務トシテ、其支拂ヒラ受ケシムルト云フコトニナルノデアリマス、ソレカラ第六ハ委任終了又ハ代理權消滅ノ後、急迫ノ必要ノ爲ニ爲シタル行為ニ依テ、破産財團ニ對シテ生ジタル請求權、是等モ例ヘバ管財人ガ他人ニ財産ノ管理上ノコトニ付テ、或ルコトヲ委託シ、若クハ代理權ヲ與ヘテ居リマシテ時分ニ、其權限ガ無クナリ、委任ハ終了シタケレドモガ、此儘デ其ノ事務ヲ止スト云フコトニナルト、非常ニ本人即チ管財人、進シテ云ヘバ管產財團ト云フモノニ損害ガ生ズルト云フノデ、急迫必要ガアルト云フ爲ニ、委任ハ終了シタケレドモ、一時機宜ノ處置ヲスルト云フ事ガ、是ハ民法ニモアルコトデアリマス、其場合ニハ矢張り機宜ノ處置ヲ執ッテ爲シタ時ノ事柄ニ付テハ、或請求權ヲ生ズルコトモアル、是モ財團ノ利益ノ爲ニスルウ云フコトガ行ハレル譯デアリマスカラ、財團ニ其支拂ヲ爲サシムル、ソレカラ第七號ハ後ノ方ノ條文ヲ引イテ居ルノデアリマスガ、現ニ五十九條ノ方ヲ御一覽願ヒタイト思ヒマス、其場合ニハ破産宣告ノ前ニ既ニ、債務者ガ他ト契約ヲシテ居ル、其契約ガ變務ノ契約ニナツテ居ル、互ニ權利義務ヲ有シテ居ルト云フヤウナ狀態デ、マダ其履行ハ済ンデ居ナイ、斯ウ云フ狀態ニ於テ破産ノ宣告ガアリマシタトキハ、其契約ノ決濟ヲドウ云フ風ニスルカト云フノガ、五十九條ノ規定デアリマシテ、即チ此場合ニハ、破産管財人ガ、此契約ハコテラノ方デモ履行ヲスルニ依テ、相手方ノ履行ヲモ求ムル方ガ便宜デアアル、利益デアアル、斯ウ思ヒマシタトキニハ、履行ヲ致シマスルシ、或ハ是ガ不利利益デアレバ、其契約ヲソレマデニ打切ッテシマフ、解約ヲシテシマフト云フコトノ規定ニナツテ居ルノデアリマス、ソレデ其第五十四條一項ノ規定ニ依リマシテ管財人ガ債務ノ履行ヲスル、即チ相手方ノ履行ヲ求メ、コテラモ履行ヲスルト云フ事ニ選擇ヲ

致シテ、其ノ處置ヲ執リマシタ場合ニ於キマシテハ、相手方
ガ有スル所ノ請求權、即チ向フカラ履行ヲ求メ、其代リコチ
ラカラモ履行ヲスル、コチカラ履行ヲスルト云フ事ガ、相
手方カラ見マスルト、即チ相手方ガ有スル所ノ請求權ニナ
ルノデアリマス、デ先方カラ履行ハ完全ニ受ケルト云フ事
ニナルカラ、此方ノ履行モ完全ニ之ヲ爲サネバ、如何ニモ不
公平デアルト云フ見地カラシテ、相手方ノ有スル請求權モ
破産手續ニ依ラズ、即チ割引ヲシナイデ完全ニ履行スルコ
トニスル必要カラ、財團債權ト致シテ譯デアリマス、第八號
ハ此民法等ノ規定ニ據リマス、例ヘバ民法ノ六百二十一
條、或ハ六百三十一條デアリマシタカ、外ニモアリマスガ、
是等ノ規定ニ據リマス、契約當事者ノ一方即チ六百二十
一條ニ依リマスレバ賃借人、ソレカラ六百三十一條ニ據リ
マスレバ使用者、是等ガ破産ノ宣告ヲ受ケマシタ時ニハ、其
相手ハ解約ノ申出ガ出來ルト云フコトニナッテ居リマス、所
ガ此解約ト云フモノハ、一定ノ日限ヲ經マシテ初メテ其解
約ト云フ結果ニナルノデアリマスカラシテ、ソレ迄ノ間ト
云フモノハ矢張り其契約ガ殘テ居ルノデアリマス、例ヘバ
此六百二十一條ニ據リマスレバ、此賃借人ガ破産シマシタ
時ニモ同様デアリマス、解約ノ申出ハ出來マスガ、一定ノ期
間ハ契約ガ殘テ居ル、其間ト云フモノハ矢張り賃借人、破
産者ト云フ者ハ賃借物ヲ使用シテ利益ヲ受ケテ居ル、斯ウ
云フコトニナリマスシ、又六百三十一條ノ例ニ依リマシテ
モ、此使用主ガ破産ノ宣告ヲ受ケマシタトキハ解約ノ申出
ガ出來マスガ、其解約ノ結果ヲ生ジマスルマデノ間ト云フ
モノハ、矢張り使用主、破産者ト云フモノガ、矢張り使用人
ヲ使フテ利益ヲ得テ居ル、斯ウ云フ譯ニナリマスカラ、其利
益ヲ受ケタ請求權、前ノ例ニ依レバ借地權、後ノ例ニ依レバ
使用人ノ給料、斯ウ云フ權利ト云フモノハ完全ニ支拂フガ
至當デアルト云フ所カラ、完全ニ支拂フト云フ意味カラ、
財團債權ト致シタノデアリマス、第九號ハ破産者及ビ之ニ
扶養セラル、者ノ扶助料、是ハ大體財産ノ全部ヲ引上ガマ
シテ、此破産手續ニ依テ債權者ニ配當スルト云フコトニナ
ルモノデアリマス、破産者及ビ之ニ扶養セラル、者ノ扶助
料ト云フモノハ、之ヲ拂ッテヤラネバ洵ニ氣ノ毒デアルト云
フ所カラ、是モ財團債權ノ他ノ破産債權者等ニ支拂フナサシ
ムルト云フ趣意デ、財團債權トナシテ譯デアリマス、ソレ
カラ第四十八條ハ、破産管財人ガ負擔附遺贈ノ履行ヲ受
ケマシタトキ、即チ破産者ガ他ヨリ遺贈ヲ受ケテ居ル、其遺
贈ニハ負擔ガ附イテ居ル、斯ウ云ノ場合ヲ想像シタノデ
アリマス、其遺贈ノ履行ヲ受ケマシタトキニハ、其負擔ノ
利益、即チ一定ノ財産ヲ遺贈スル、其代リニ其財産ヲ以テ、
斯ク斯クノ事ヲシテ貰ヒクイト云フヤウナ、負擔ガ附イテ

居ルトキハ、負擔ノ利益ヲ受クベキ所ノ請求權、即チ斯ク斯
クノ事ヲシテ貰フト云フ方ノ、此當事者ノ請求權ト云フモ
ノハ、是ハ遺贈ノ目的ノ價格ヲ超エザル限度ニ於テ之ニ財
團債權トスル、遺贈セラレマシタ其財産ノ價格ノ程度デ以
テ之ヲ財團債權トスル、其程度ニ於テハ十分ニ辨濟ヲ受ケ
シムルハ前ニアリマシタ通りニ、其遺贈ヲ承認スルトセ
ナイトハ矢張り管財人ガ出來ルトコトニナッテ居リマス、有利
ノモノト見マシタ場合ニハ、矢張ハ引受ケルト云フコト
ニナルデアラウ、其場合ニハ價格ノ範圍内ニ於テハ、負擔
ケハ之ヲ完全ニ辨濟ヲナサシムル必要ガアル、ト云フノ
デ財團債權トシテ譯デアリマス、ソレカラ第四十九條、五十
條ハ其財團債權ト云フモノハ如何ニシテ之ヲ支拂フカ、如
何ナル順位ニ於テ之ヲ支拂フカト云フヤウナコトヲ定メテ
居リマス、即チ第四十九條ニ於キマシテ、破産手續外ニ於テ
之ヲ支拂フ、而モ其支拂時期ノ到來スルニ從テ隨時ニ之ヲ
支拂フ、ソレカラ其財團債權ト云フモノハ、其他ノ債權者ヨ
リモ優先シテ是ガ支拂フスルト云フコトヲ極メテ譯デアリ
マス、ソレカラ第五十一條ハ財團債權ト云フモノハ、破産債
權ヨリモ先ダツテ隨時ニ支拂フスルト云フコトニナッテ居リ
マス、其額ガ餘程嵩ミマシテ、破産財團ノ總額ヲ以テスルモ
之ヲ辨濟スルコトガ出來ナイト云フヤウナ事ガ、段々支拂
ヲシテ行ク上ニ於テ明カニナッテ來マシタトキニハ、其時ニ
ハ其未拂ノ部分ニ付テハ、割合ニ應ジマシテ辨濟スル場合
ニ於キマシテ、前ニ溯リマシテ既ニナシタ辨濟ト云フモノ
ヲスツカリ取消シテ全部割引ニスルト云フ事ニナリマシタ
ナラバ、或ハ公平ニナルカ知レマセスガ、サウ云フコトニ致
シマスト云フト、非常ニ手續ノ進行上ニ困ル結果ヲ生ズル
ノデアリマスカラ、隨時ニ片端カラ拂ッテ行クト云フコト
ニナッテ居ル、ソレデ段々拂ッテ行キマス中ニ先ヲ見渡セバ
是デハ或ハ足ナラカラウ、足ラナイト云フコトニナリマシタ
時ニハ、ソレカラ公平ニ割合額ニ依テ辨濟スルト云フコト
ニスル、前ニ支拂ウタモノハ其儘ニシテ置ク、是ハ已ムヲ得
ナイ事トシテ斯様ニシテ置ク、但シ其財團ニ付キマシテモ財
團債權ノ中、或ハ留置權、或ハ特別ノ先取特權ガアルト云フ
ヤウナ、特別ノ權利ノ附イテ居リマスモノハ、是ハ無論實行
セシムル必要ガアルノデアリマスカラ、其效力ハ敢テ之ヲ
妨ゲル譯デハナイガ、其外ノ優先權ト云フモノハ、是ハ此場
合ニ於テハ一切見ナイデ、價格ノ金額ノ割合ニ依テ辨濟
スルト云フ打切り主義ヲ執ッテ譯デアリマス、ソレカラ五十
二條ノ規定ハ是ハ、此四十七條ノ七號ト、ソレカラ四十八條
即チ此破産前ニ既ニ成立ツテ居リマシタ所ノ此權利ヲ支拂
ヒマスニ付テ、矢張りマダ期限ニ至ラナイモノモアルノデ
アラウシ、其外其金額期限等ノ不確定ト云フコトモアリマ

セウシ、色々之ヲ簡便ニ迅速ニ支拂フスルト云フコトノタ
メニハ、是等ノ規定ヲ準用イタシマシテ、サウシテ之ヲ以テ
打切りマシテ支拂フスルト云フ必要ガホコッテ來ルノデア
リマスカラ、ソレデ此規定ヲ設ケマシタ次第デアリマス
○委員長(伯爵松平賴壽君) 御質問ヲ願ヒマス
○菅原通敬君 財團債權ト云フモノハ、今御説明ニ伺ヒマ
シタ通り、破産財團ノ管理處分、其他破産手續ノ遂行ニ際シ
テ、其財團ニ關シテ生ジタル債務ト云フモノニ付テ、先ヅ破
産財團カラ支拂ッテヤルト云フノ趣意カラ生ズルモノデア
ルト云フコトハ、明カナコトデアリマスガ、四十七條ノ第二
號、國稅徵收法又ハ國稅徵收ノ例ニ依リ徵收シ得ル請求權、
斯ウ云フモノハ先程ノ御説明ニ依リマシテ、是ハ特別デア
ルト云フコトデアリマシタガ、全ク破産手續ノ遂行ニ際シ
テ、其財團ニ關シテ生ジタル債務、或ハ債權トカ云フモノデ
ハナイノデ、破産宣告前ニ於テモ、破産宣告前ノ原因ニ基ク
モノサヘモ、之ニ依ッテ財團債務ト認メルト云フコトニナル
譯デアリマスガ、餘程稀ナル、又他ノモノト比較シテ見ルト
云フト、餘程異ツタル性質ノモノデアリヤウニ見エルノデア
リマス、是ハ現行法ニハナカッタヤウニ思ッテ居リマスガ、國
稅其他ノ公課ハ普通ノ債權ニ優先スルト云フコトハ、各、
皆法規ニ於テ定メラレテ居ルコトデアリマスカラ、特ニ茲
ニ之ヲ掲ゲズトモ、一般債權ニ先チテ徵收ノ出來ルコトデ
アル、是ハ必要ノナイヤウニ思フノデアリマスガ、此所ヘ之
ヲ掲ゲラレタト云フニ付テ、國稅徵收法其他ノ規定シテア
ル以上ニ、何カ國稅徵收ノ爲ニ便宜デアルトカ、確實デア
ルトカ云フヤウナ利益ガ生ジテ來ルノデアリマセウカ
○政府委員(池田寅二郎君) 此ノ國稅ハ勿論デアリマスガ、
其外ノ公課等ニ於キマシテモ、大體現行法ニ於キマシテハ
抵當權其他ノ特別ノ物件ニ對シテモ、優先シテ實行シ得ル
ヤウナ效力ヲ有ッテ居ルヤウナコトニナッテ居ルノデ、或ハ
別除權ノ性質ノモノデアリヤウナコトニナッテ居ルノデ、
實行スルト云フコトニナルヨリモ、寧ろ財産債權トシテ之
ヲ支拂フト云フコトニスル方ガ、適當デアラウト云フコト
カラ這入ッタヤウナ次第デアリマス、ソレカラ既ニ破産手續
ヲヤリマス前カラ、此滯納處分等ノ實行ガ着手セラレテ居
ルモノニ付キマシテハ、其儘滯納處分等ヲ續行スルト云フ
コトニナッテ居ルノデアリマス
○菅原通敬君 サウスルト現行法以上ニ、國稅徵收ノ請求
權ヲ確實ニスルト云フ意味ガ加ッテ居ルノデアリマスガ
○政府委員(池田寅二郎君) 特ニ確實ニスルト云フ意味ニ
モナルマイカト思ヒマスケレドモ、寧ろ此方ガ適當デア
ラウト云フコトデアリマス、現行法ニ於キマシテモ、隨分國稅

ト云フモノハ、既ニ申シマシタヤウニ特別ノ擔保ニモ、或程度マデハ優先スルト云フ所マデノ效力ヲ與ヘテアルノデアリマス。

○菅原通敬君 此ノ別除權ト財國債權ト競合スル場合ガ起ラスノデアリマス。

○政府委員(池田寅二郎君) 自ラ其性質ヲ異ニシテ居ルノデアリマシテ、財國債權ト申シマスレバ唯今申シマシタ通りニ、此財國ノ全體カラ優先シテ隨時辨濟ヲ受ケルコト云フ云ニナルノデアリマス、別除權モ無論優先ノニハ辨濟ヲ受ケマスレドモ、寧ロ或特定ノ財國特定ノ財産、不動産ニ付テ特別ノ物權ト云フモノヲ設ケテ居ル場合ガ、即チ別除權ニナルノデアリマス。

○菅原通敬君 別除權ナルモノハ、質權ナリ抵當權ヲ有テ居ルモノノ權利者ガ行フ權利デアリマスガ、其ノ國稅徵收ノ場合ニ於テ、國稅ノ擔保トシテ、所謂質權抵當權ヲ別除權トサレテ居ルモノガアル、其場合ニ於テ國稅ノ方カラ、質權抵當權ト云フモノヲ、先チテ之ヲ徵收スルト云フコトハ、此財國債權ト云フ方ノ權利カラ主張シテ行クノデアリカ、或ハ國稅徵收法ノ規定ノ下ニ於テソレヲ施行シテ行クノデアリカ、其所ニ依テ令別除權ノ間ノ競合ガ起ルカ起ラヌカト云フ問題ニナルノデアリマス。

○政府委員(池田寅二郎君) 唯今ノ御尋ネノ場合ハ、國稅ニ特ニ別除擔保ガアルト云フ場合ニハ、其ノ別除擔保ヲ行使シテ國稅徵收ヲ受ケルケレドモ、若シ其納稅ガ破産ヲ致シマシタ場合ニ、此四十七條ノ規定ニ依リマシテ、財國債權トシテ其權利ヲ行使イタシマスルケレドモ、ソレハ破産法ニ於キマシテハ、何レニ依ラネバナラヌト云フコトノ規定ハ、無イコトニナツテ居リマスルカラ、全ク國稅ニ關スル法規ノ解釋ニ依テ決スルコトデアアルカト思フノデアリマス。

○菅原通敬君 此五十一條ノ場合デゴザイマスガ、隨時辨濟ヲ行フテ行ク上ニ不足ヲ生ジタ場合ニ於テハ、割合ニ應ジテ此辨濟ヲ受ケナイト云フコトニナルト云フト、後カラ辨濟ヲ受ケルノハ非常ナリ不利ナリト云フコトニナリマスガ、先キニ辨濟ヲ受ケタモノダケハ得シテ仕舞フト云フヤウナコトニナルト、大變不公平ナヤウニ思ハレマスガ、大體ノ債權額、破産債權額ハ幾ラデアアルカト云フヤウナコトヲ包括シテ見テ置イテ、財産ハ是ダケデアアルカラ、何割ノ配當ニナルガ宜イト云フヤウナ位ノコトヲ見テ、ソレカラ配當辨濟ヲシテ行クト云フコトガ、相當ノヤウニ思フノデアリマスガ、サウ云フコトニナラヌノデスカ。

○政府委員(池田寅二郎君) 御尤モノ御心配デアリマス、或ハ公平ヲ期シマスル上カラ申シマシタナラバ、初メヨリ

左様ニスル方ガ宜シイカト思ハレマスケレドモ、マア破産手續ヲ遂行シテ參リマスニ付キマシテ、例ヘバ人ヲ雇入レマストカ、或ハチヨイ／＼イロ／＼買物ヲスルトカ云フヤウナ、隨時ニ入費ガ掛ルト云フノガ、即チ破産手續上ノ實際デアリマス、四十九條デ隨時ニ之ヲ辨濟スルト云フノモ、サウ云フ意味合ヒデアリマス、デアリマスルカラ、其手續ヲ始メマシテカラ、終リニ至リマスマデ、相當年限モ掛ルトコトデアリマス、初メヨリ此割合ヲ以テヤルト云フ事ニナリマスレバ、ソレ等ノ債務モ悉ク支拂ハズニ置キマシテ、サウシテ或時期ニ達シテカラ、之ヲ割當テルト云フコトニナリマシテ、是モ一種ノ破産手續ミタヤウナ譯ニナルコトデアリマス、ドウモ手續實行上ニ於キマシテハ、其方法ハ取レマイカト思ハレノデアリマス、但シ實際的ニ申シマスレバ、破産管財人等ハ財國ト云フモノノ額ト云フモノヲ、初メカラ大體心得テ居リマス、ソレカラソレニ使フ所ノ入費ト云フモノモ、相當ノ計畫ヲ立テテ使テ往クヤウナ譯デアリマスカラ、財國債權ヲ拂テ尙ホ財産ガ足ラヌト云フコトニナリマスルノハ、ヨク／＼事デハナカラウト思フノデス、結局ソコマデ行詰タト云フコトヲ考ヘマスレバ、破産ヲ廢止スル外途ガナイカト思ハレノデアリマス左様ニナラザル限りハ、大體財國債權ト云フモノハ、之ヲ片／＼端カラ支拂テ差支ナイ無事ニ済ムモノデアルト云フコトニナルト思フノデアリマス、唯實際ノ手續ヲ運ビマス上ニ於テ愈々特別ノ場合ニ於テ、財國ノ總額ガ足ラナクナタト云フ場合ニ然ラバ前ノ辨濟ハドウスルカ、之ヲ取戻スカ、然ラバアトノマダ未拂ノ分ハドウスルカト云フコトニ付キマシテハ、法律ノ規定ト致シマシテハ、斯ウ云フヤウナコトデモ決メテ置キマセスト、其結果ヲ付ケルコトガ困難ニナラウカト思フノデアリマス、實際ノ場合ニ於キマシテ、ソコ迄行詰ルコトハ餘リ無カラウカト思ヒマス。

○菅原通敬君 ソコデ一ツ私ハ疑ガ起ルノデスカ、第四十七條ノ二號ニハ、國稅ト云フモノヲ財國債權トシテ置ク、處ガ財國債權ト云フコトニナルト、五十一條ニ往テ優先權ニ拘ラス割合ニ應ジテシカ支拂ヲシナイ、サウスルト國稅徵收法ニ於テ他ノ項ガ普通ノ債權ニ優先スルト云フ規定ト、茲ガ低觸スルコトニナリマス、縱令全體ノ債權ヲ辨濟スルニ不足ノ場合デモ、國稅デアアルカラバ、其他ノモノヲ排斥シテ優先シテ取ツシマフコト云フコトガ出來ルニ拘ラズ、財國債權トナツタガ爲ニ、割合ニ應ジテ徵收シナケレバナラヌト云フヤウナコトニナルト云フト……

○藤田四郎君 私モ菅原サント全ク同感ニ思フノデスカ、五十一條ノ抵當權、質權ヨリ以上ノ權利ヲ持ツモノガ惡クナツテ行クヤウニ思フノデ、元來ノ法律ト矛盾シテ居ルヤウニ思フノデアリマス、今度ハ分配ヲ受ケルヤウニナツテ減ツテシマフ、抵當權ヨリ上ノモノガ惡クナツテシマフヤウニ思フノデアリマス。

○政府委員(池田寅二郎君) 此五十一條ノ特別擔保ト申シマスモノハ、此財國債權ガ出來ルニ付テ生ジタ所ノ擔保デアリマス、例ヘバ破産手續ヲ實行スル上ニ付テ、一時借財ノ必要ガアツテ、財國ヨリ擔保ヲ供シテソレヲ借入レタト云フ場合ガ、此五十一條ノ抵當權トナツテ居リマス、國稅等ノモノト自ラ其點ガ異ッテ居ルカト考ヘテ居リマス、ソレカラ……

○菅原通敬君 ソレハ但書ノ場合デ、サウデナク、本文ノ方ノ「財國債權ノ辨濟ハ法令ニ定ムル優先權ニ拘ラズ未ダ辨濟セザル債權額ノ割合ニ應ジテ之ヲ爲ス」トアリマスガ……

○政府委員(池田寅二郎君) 徵收法ノ手續デ既ニ實行シテ居ルモノハ、モウ其儘デ進行スルコトハ前ニ申シマシタ次第デアリマス、マダ破産手續ニ掛カル前ニ、徵收法ノ規定ニ依リ徵收ニ着手シテナイ、破産手續ガ開始セラレタ、斯ウ云フ場合ニ於キマシテハ、更ニ徵收法ノ規定ヲ以テ中ニ割込シテ來ルト云フヤウナコトニナリマスカラシテ、是亦破産ノ手續上困ルコトニナルデアアラウト云フ所カラシテ、此財國ノアル限り、先ヅ辨濟ヲ受ケル所ノ財國トシテ取扱ハスルト云フコトニナツタ譯デアリマス、勿論之アルガ爲ニ納稅義務者即チ破産者ニ對スル國稅ノ權利ト云フモノガ、無クナル譯デアリマスセスカラ、他ニ此財國ニ屬セナイ所ノ財産ガアリマスレバ、是ハ何時デモ其方ニ向ツテ徵收スルト云フコトハ差支ナイ、デアリマスカラ割合デテ辨濟シマシテモ、是ハ其残りノ部分ト云フモノガ無論無クナルト云フ譯デアリマス、國稅ノ徵收ノ效力ト云フモノハ、矢張り尙ホ存スルコトニナラウト思ヒマス。

○菅原通敬君 サウハナラヌト思フノデアリマシテ、全體ノ債權ヲ辨濟スルニ足リナイ、而シテ國稅ノ如キモ他ニ優先スル權利アルニ拘ラズ、一般債權ト其額ニ應ジテサウシテ支拂ヲナスノダト云フ規定デアアルノデアリマスカラ、ドウシテモ此規定ニ從フト、税金モ總テ之ヲ徵收スルト云フ譯ニ往カヌ、割合ニ應ジテシカ徵收スルコトガ出來ヌト云フコトニ相成ルノガ必然ノ結果デアアラウト思フノデアリマス、ソレデ四十七條ノ第二號ニ斯ウ云フモノヲ加ヘタガ爲ニ、別ニ國稅徵收ノ效力ヲ増進セル趣意デモナイト云フ御説明モアル次第デアリマスガ、而カモ此五十一條ニ往ツテハ、國稅徵收規則ト云フモノハ餘ホド效力ヲ減殺サレルコトニナルノデアリマス、寧ロ第二號ヲ御削リニナツタ方ガ宜イノデアリマス、既ニ現行ニ於テモ斯ウ云フモノハ無

ニ思フノデアリマス、今度ハ分配ヲ受ケルヤウニナツテ減ツテシマフ、抵當權ヨリ上ノモノガ惡クナツテシマフヤウニ思フノデアリマス。

○政府委員(池田寅二郎君) 此五十一條ノ特別擔保ト申シマスモノハ、此財國債權ガ出來ルニ付テ生ジタ所ノ擔保デアリマス、例ヘバ破産手續ヲ實行スル上ニ付テ、一時借財ノ必要ガアツテ、財國ヨリ擔保ヲ供シテソレヲ借入レタト云フ場合ガ、此五十一條ノ抵當權トナツテ居リマス、國稅等ノモノト自ラ其點ガ異ッテ居ルカト考ヘテ居リマス、ソレカラ……

○菅原通敬君 ソレハ但書ノ場合デ、サウデナク、本文ノ方ノ「財國債權ノ辨濟ハ法令ニ定ムル優先權ニ拘ラズ未ダ辨濟セザル債權額ノ割合ニ應ジテ之ヲ爲ス」トアリマスガ……

○政府委員(池田寅二郎君) 徵收法ノ手續デ既ニ實行シテ居ルモノハ、モウ其儘デ進行スルコトハ前ニ申シマシタ次第デアリマス、マダ破産手續ニ掛カル前ニ、徵收法ノ規定ニ依リ徵收ニ着手シテナイ、破産手續ガ開始セラレタ、斯ウ云フ場合ニ於キマシテハ、更ニ徵收法ノ規定ヲ以テ中ニ割込シテ來ルト云フヤウナコトニナリマスカラシテ、是亦破産ノ手續上困ルコトニナルデアアラウト云フ所カラシテ、此財國ノアル限り、先ヅ辨濟ヲ受ケル所ノ財國トシテ取扱ハスルト云フコトニナツタ譯デアリマス、勿論之アルガ爲ニ納稅義務者即チ破産者ニ對スル國稅ノ權利ト云フモノガ、無クナル譯デアリマスセスカラ、他ニ此財國ニ屬セナイ所ノ財産ガアリマスレバ、是ハ何時デモ其方ニ向ツテ徵收スルト云フコトハ差支ナイ、デアリマスカラ割合デテ辨濟シマシテモ、是ハ其残りノ部分ト云フモノガ無論無クナルト云フ譯デアリマス、國稅ノ徵收ノ效力ト云フモノハ、矢張り尙ホ存スルコトニナラウト思ヒマス。

イノデアリマス、其點ニ付テ一ツ尙ホ御考ヘヲ願フテ見タイ
ト思ヒマス

○藤田四郎君 是ハドウカ此次ニ御答辯ヲ、御協議ノ上デ
願フテ置キタイト思ヒマス

○委員長(伯爵松平賴壽君) 如何デセウカ、今日ハ是デ止
メテ置キマシテ此次ニ……

○政府委員(池田寅二郎君) モウ少シ申シ上ゲテ見タイコ
トモ、今考ヘテ居ルコトモアリマスケレドモ、尙ホ此點ハ改
メテ御答イタスコトニ致シマス

○委員長(伯爵松平賴壽君) 今日ハ是デ委員會ヲ閉デマ
ス、明日ハ午前十時カラ開キマス

午後四時一分散會

出席者左ノ如シ

伯爵松平 賴壽君

河村 讓三郎君

男爵矢吹 省三君

藤田 四郎君

加太 邦憲君

菅原 通敬君

政府委員

司法省民事局長 池田 寅二郎君

司法省參事官 三宅 正太郎君

大正十一年二月八日印刷

大正十一年二月九日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局